

アナリスト レポート

新型コロナの悪影響により厳しい状況にあるものの、
持ち直しの動きが続いている

しがぎん
経済文化センター
(産業・市場調査部)

県内景気 天気図



- 凡例
- 晴れ 晴れ一部曇り
 - 曇り 曇り一部雨
 - 雨
- 前月比
- 上昇・好転 横ばい
 - 下降・悪化

県内景気の動向

現状 県内製造業の生産活動を鉱工業生産指数で見ると、前月に比べ生産用機械や輸送機械などで上昇したものの、化学や汎用・業務用機械などで大幅に低下したため、全体では4か月ぶりに低下した。

需要面では、百貨店・スーパー販売額は衣料品が引き続き伸び悩んでいるものの、ウエイトの高い飲食料品をはじめ、家電機器や家庭用品が前年を上回ったため、全店ベースでは2か月ぶりに増加、既存店ベースでは8か月連続で増加している。大型専門店などの他の小売業態の販売額も一部で厳しい業態はあるものの堅調に推移しているため、小売業6業態計の売上高は3か月連続で増加。また、軽乗用車の販売台数は4か月ぶりに減少したものの、乗用車の新車登録台数が引き続き前年を上回っているため、3車種合計では4か月連続で増加している。さらに、新設住宅着工戸数も2か月ぶりに大幅増加した。一方、民間設備投資の指標である民間非居住用建築物着工床面積は10か月連続かつ大幅に減少し、公共工事の請負金額も4か月連続で大幅減少している。

このような中、雇用情勢をみると、有効求人倍率は3か月連続で上昇したものの、9か月連続で1倍を下回り低水準が続いている。また、常用雇用指数は6か月連続で上昇しているが、製造業の所定外労働時間指数は23か月連続かつ大幅に低下している。

また、当社が2月に実施した「県内企業動向調査」

京滋の景気動向

京都府・滋賀県の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状態にあるが、基調としては持ち直しの動きが続いている。

個人消費をみると、財は持ち直し傾向にあるものの、飲食サービスは時短営業等の影響から弱い動きとなっており、総じてみれば持ち直しの動きが一服している。観光は、減少しており、引き続き厳しい状態となっている。設備投資は、非製造業を中心に収益環境の悪化を受けた経費節減の動きがみられることから、減少している。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、公共施設の建築工事や高速道路関連工事などを中心に増加し

(21年1-3月期)によると、自社の業況判断DIは前回調査(20年10-12月期、11月実施)と同じ-38で、昨年4-6月期以降、4四半期連続で低水準が続いている。

これらの状況をまとめると、製造業の生産活動は持ち直しが続かなか、一進一退で推移している。需要面では、個人消費は一部で伸び悩みが続く品目や業態はあるものの、全体では堅調に推移し持ち直しが続いていると考えられる。しかし、投資需要では住宅投資は増加したものの、民間設備投資と公共投資は不振が続いている。したがって県内景気の現状は、新型コロナウイルス感染症拡大の悪影響により厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いているとみられる。

今後の動向 県内製造業の生産活動は、新型コロナウイルス感染症の再拡大による「緊急事態宣言」の再発令に伴う内需の落ち込みはあるものの、中国や米国の景気回復に伴う外需の回復などから、今までの回復傾向が続くと考えられる。また、個人消費についても同宣言の再発令に伴う消費マインドの悪化は一部にとどまるとみられ、持ち直しの動きが持続すると思われる。一方、民間設備投資や住宅投資などの投資需要については慎重な動きが続くと考えられる。したがって今後の県内景気については、同宣言の再発令による悪影響が懸念されるものの、持ち直しの動きが続くと考えられる。

ている。こうした中で、生産は、緩やかに増加している。また、雇用・所得環境をみると、労働需給・雇用者所得ともに弱い動きとなっている。

今後については、当面、感染症の影響から厳しい状態が続くとみられるが、緩和的な金融環境や政府等の各種経済対策の効果もあって、徐々に改善していくとみられる。こうした中、感染症の帰趨、政府等が打ち出している各種経済対策の効果、米中間の貿易摩擦を含む海外経済の動向、それらが管内経済に与える影響等に注視していく必要がある。
【日本銀行京都支店:「管内金融経済概況」(2021年3月8日発表)より】

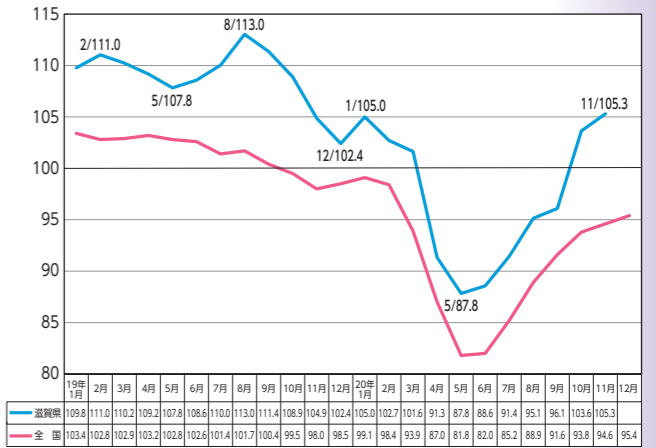
「鉱工業生産指数」の前月比は

4か月ぶりに低下

- ・鉱工業生産指数(2015年=100)の「原指数」(2020年12月)は104.5、前年同月比+0.4%となり、2か月連続で上昇したが、「季節調整済指数」は103.8、前月比-6.7%で、4か月ぶりに低下し、一進一退で推移している。しかし、季調済指数の3か月移動平均値(11月)は11月単月の大幅上昇(前月比+10.4%)を受け、105.3、前月比+1.6%となり、昨年5月(87.8)を底に6か月連続の上昇かつ2か月連続で100の基準を超えている。
- ・業種別季調済指数の水準が100の基準を上回ったのは「生産用機械」(145.8)や「化学」(139.3)など、一方、「電子部品・デバイス」(60.5)や「窯業・土石製品」(70.9)、「金属製品」(75.8)などは引き続き極めて低い水準で推移している。
- ・前月と比較して高ウエイトで上昇した業種は、「生産用機械」(前月比+11.3%、半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置)や「輸送機械」(同+15.8%)など。一方、低下したのは「化学」(同-23.5%、化粧品)や「汎用・業務用機械」(同-36.5%、運搬装置)など。
- ・「出荷指数」と「在庫指数(製品在庫)」は、出荷は2か月ぶりに低下

(原指数101.6、前年同月比-1.7%)、在庫は高水準ながら6か月連続で低下(同109.0、同-5.5%)。業種別でみた在庫指数は「汎用・業務用機械」などで大幅上昇したが(同+33.1%、うち業務用機械、同+149.3%)、「輸送機械」などで大幅低下(同-75.5%)。

鉱工業生産指数の3か月移動平均値の推移(季節調整済値、2015年=100)



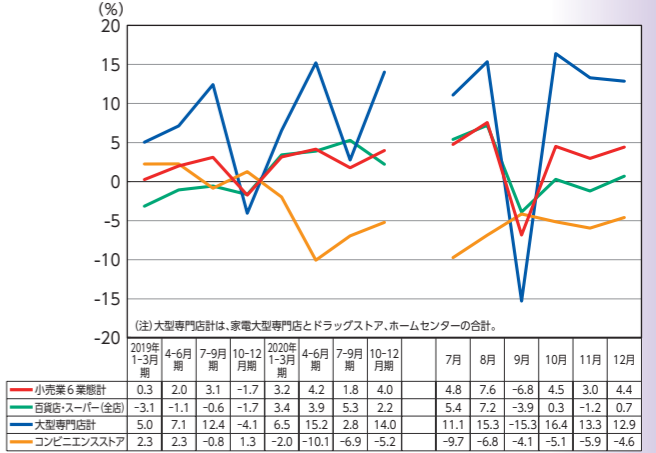
「小売業6業態計売上高」は

3か月連続で増加

- ・百貨店・スーパー販売額(全店ベース=店舗調整前、対象102店舗)(12月)は、24,390百万円、前年同月比+0.7%となり2か月ぶりに増加した。品目別では、ウエイトの高い「飲食料品」が13か月連続で増加し(同+3.4%)、「家電機器」は2か月連続かつ大幅に増加し(同+10.1%)、「家庭用品」も4か月ぶりに前年を上回ったが(同+3.6%)、「衣料品」(同-22.2%)や「身の回り品」(同-14.5%)はともに4か月連続で大幅に減少している。「既存店ベース(=店舗調整後)」では8か月連続で増加している(同+5.9%)。品目別にみると「衣料品」は4か月連続で減少しているものの(同-9.4%)、「飲食料品」(同+6.5%)をはじめ「家庭用品」(同+14.7%)、「家電機器」(同+11.1%)などが増加した。
- ・大型専門店では、ウエイトの高い「ドラッグストア」(全店ベース=店舗調整前、12月、213店舗)は7,559百万円、同+8.0%、「家電大型専門店」(同41店舗)は5,249百万円、同+19.5%、「ホームセンター」(同64店舗)は4,069百万円、同+14.3%で、すべて3か月連続で増加し、堅調に推移している。一方、「コンビニエンスストア」(同559店舗)は9,712百万円、同-4.6%となり10か月連続で減少している。
- ・これらの結果、「小売業6業態計売上高」(12月)は50,979百万円、同+4.4%となり3か月連続で増加している。これは、新型コロナ対策のための衛生用品をはじめ、「新しい生活様式」に関連した家電

機器の販売などが引き続き堅調に推移しているためとみられる。
・「乗用車新車登録台数(登録ナンバー別)」(1月)は、「小型乗用車(5ナンバー)」が3か月連続で減少したものの(1,010台、同-4.8%)、「普通乗用車(3ナンバー車)」が4か月連続で大幅増加しているため(1,717台、同+24.9%)、2車種合計では4か月連続かつ大幅に増加している(2,727台、同+11.9%)。一方、「軽乗用車」は4か月ぶりに減少した(1,760台、同-1.2%)。しかし、これら3車種の合計では4か月連続で増加している(4,487台、同+6.4%)。

百貨店・スーパー、大型専門店、コンビニエンスストアの小売業態別販売額(前年同期(月)比)



「民間非居住用建築物着工床面積」は

10か月連続かつ大幅に減少

- ・民間非居住用建築物着工床面積(21年1月)は31,734㎡、前年同月比-36.1%で、10か月連続かつ大幅に減少している。減少幅は再び拡大した。用途別にみると、「商業用」は4か月連続で大幅増加しているが(2,602㎡、同+239.2%)、「鉱工業用」と「サービス業用」が大幅減少したため(順に8,901㎡、同-51.9%、4,879㎡、同-83.6%)、この3業用計でも10か月連続かつ大幅に減少している(16,382㎡、同-66.6%)。これも減少幅は大きく拡大した。
- ・トラック新車登録台数(1月)は、「小型四輪トラック(4ナンバー車)」が5か月ぶりに減少したものの(174台、同-2.8%)、「普通トラック(1ナンバー車)」が2か月連続で増加したため(110台、同+25.0%)、2車種合計では2か月連続で増加した(284台、同+6.4%)。

民間非居住用建築物着工床面積の推移

